

②介護ソフト、情報端末の導入

ICT 導入方針

ハートケア港では、社員の業務負担軽減およびサービスの質の向上を目的として、ICT(情報通信技術)の導入および活用を推進する。

介護記録、情報共有、請求業務等を ICT 化することにより、紙記録からの転記作業や二重入力を削減し、業務の効率化を図る。また、職員間の情報共有を迅速に行うことで、利用者の状態変化に対して適切かつ迅速な対応を可能とする。

さらに、ICT 機器(パソコン、タブレット、スマートフォン等)を活用することにより、現場における記録入力や情報確認を容易にし、業務の生産性向上を図る。

ハートケア港では今後も ICT を活用した業務改善を進め、職員が働きやすい環境づくりとサービスの質の向上に取り組むものとする。

ICT 導入計画書

1 導入目的

- ・介護記録業務の効率化
- ・社員間の情報共有の迅速化
- ・請求業務の正確性向上
- ・転記業務の削減による業務負担軽減

2 導入機器

- ・パソコン
- ・タブレット端末
- ・スマートフォン

3 導入システム

- ・介護ソフト ケア樹 (業務日誌・各種記録・実績管理・請求業務)
- ・スマートフォン ラインワークス(社員間の連絡ツール)
- ・スキャナー・ハンディースキャナー(各種書類の保管用)

4 ICT 活用内容

- ① 訪問・支援後の記録入力・・・ケア樹
- ② 利用者情報の確認……………ケア樹・
- ③ 社員間の申し送り……………ラインワークス
- ④ サービス実績管理……………ケア樹
- ⑤ 介護報酬請求業務……………ケア樹
- ⑥ 電子保管用書類管理……………PC/スキャナー

5 期待される効果

- ・記録作業時間の短縮
- ・紙記録からの転記作業削減
- ・情報共有の迅速化
- ・請求業務の正確性向上
- ・紙の削減

ICT 機器運用ルール

ハートケア港では、ICT 機器および介護ソフトの適切な運用のため、以下のルールを定める。

1 情報管理

- ・利用者の個人情報適切に管理する
- ・ID およびパスワードによりアクセス管理を行う

2 機器管理

- ・業務目的以外の使用は行わない
- ・紛失防止のため適切に管理する

3 記録入力

- ・サービス提供後速やかに入力する
- ・事実に基づき正確な記録を行う

4 情報共有

- ・利用者の状態変化等は ICT システムを活用して共有する

ICT 機器管理台帳

機器	台数	管理場所
PC	3 台	事務室
タブレット	1 台	訪問用
スマートフォン	2 台	訪問用
スキャナー	1 台	事務室
ハンディスキャナー	1 台	訪問用

ICT 研修実施記録

研修名

ケアプランデータ連携の操作方法

研修目的

ケアプランデータ連携の操作方法を理解する

研修内容

・ケアプランデータ連携の操作方法

開催日

令和 8 年 3 月 6 日(金)9 時～9 時 15 分

参加者

職員 稲本・加瀬・長谷川

研修結果

基本操作を理解し、入力および情報共有を円滑に行える体制を整えた。

ICT 業務改善報告書 2026 年 3 月 6 日

ICT 機器および介護ソフト導入により、以下の業務改善効果が確認された。

1 業務効率化

介護記録・実績データを電子化することにより、紙記録からの転記作業が不要となり、記録業務の効率化が図られた。

電子記録することで紛失のリスクを回避できる。

2 情報共有の向上

社員間で利用者の状態変化や支援内容を迅速に共有することが可能となった。

3 請求業務の正確性向上

ケアプランデータ連携の活用、ケアぼすの活用でサービス実績と請求データが連動することで、入力ミスの防止および請求業務の効率化につながった。

電子データ保管して、書類の紛失と必要な情報の取り出しがスピーディーにできるようになった。

4 今後の課題

ケアプランデータ連携の使用、ケアぼすの使用を推奨し、事業所間の紙ベースのやり取りを無くしていく。

参加者：稲本・加瀬・長谷川